

# 船橋南部在宅療養研究会の歩み

## ～平成19年から現在まで～

医療法人弘仁会 板倉病院  
増谷 征史

---

2024年2月18日  
船橋市ひまわりネットワーク第2回実践発表大会

# 内容

---

01.研究会のはじまり

---

02.開催実績について

---

03.会員動向

---

04. COVID-19禍の成長

---

05.最後に



# 船橋南部在宅療養研究会のはじまり

- ・設立日：平成19年10月設立
- ・設立者：板倉病院 永谷 計医師
- ・設立の目的  
顔の見える関係の構築  
地域の医療・福祉従事者のスキルアップ  
地域の課題の共有 など
- ・設立当初の参加機関数  
18機関（内医療機関8機関 福祉事業所10機関）

## ・活動概要

1. 地域における在宅療養に関する問題点の抽出を行う。
2. 解決のための作業班を立ち上げる。
3. プロジェクトを実行する。
4. 結果を検証するため、学会・研究会に発表する。
5. 会員が上記の情報を研究会で共有する。
6. 燃え尽き症候群予防のため懇談会を行う。



永谷 計医師



高木 恒雄医師



久野 慎一医師

# 船橋南部在宅療養研究会の開催実績

・定期開催日 年8回 第2金曜日（7月～8月、12月～1月除く）

・年会費 医療事業所 5,000円 介護事業所 1,000円

## ・学会発表

**第15回日本褥瘡学会学術集会**（H25.7.19）

兵庫 発表者 永谷 計

『在宅褥瘡対策 -多職種連携5年間の歩み-』

**第4回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会**（H25.5.18）

宮城 発表者 永谷 計

『在宅地域連携 ～5年間の取り組み（船橋南部在宅療養研究会）～』

**第10回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会**（H25.6.8）

千葉 発表者 八嶋直子

『在宅褥瘡患者の介護負担度調査～Zarit介護負担尺度短縮版J-ZBI8を用いて～』

**第9回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術集会**（H24.11.10）

茨城 発表者 高橋真琴

『在宅褥瘡対策～在宅療養支援診療所3年間における尾骨部褥瘡について～』

茨城 発表者 津田鈴子

『OHスケール別在宅患者さんの6か月の検討』 など

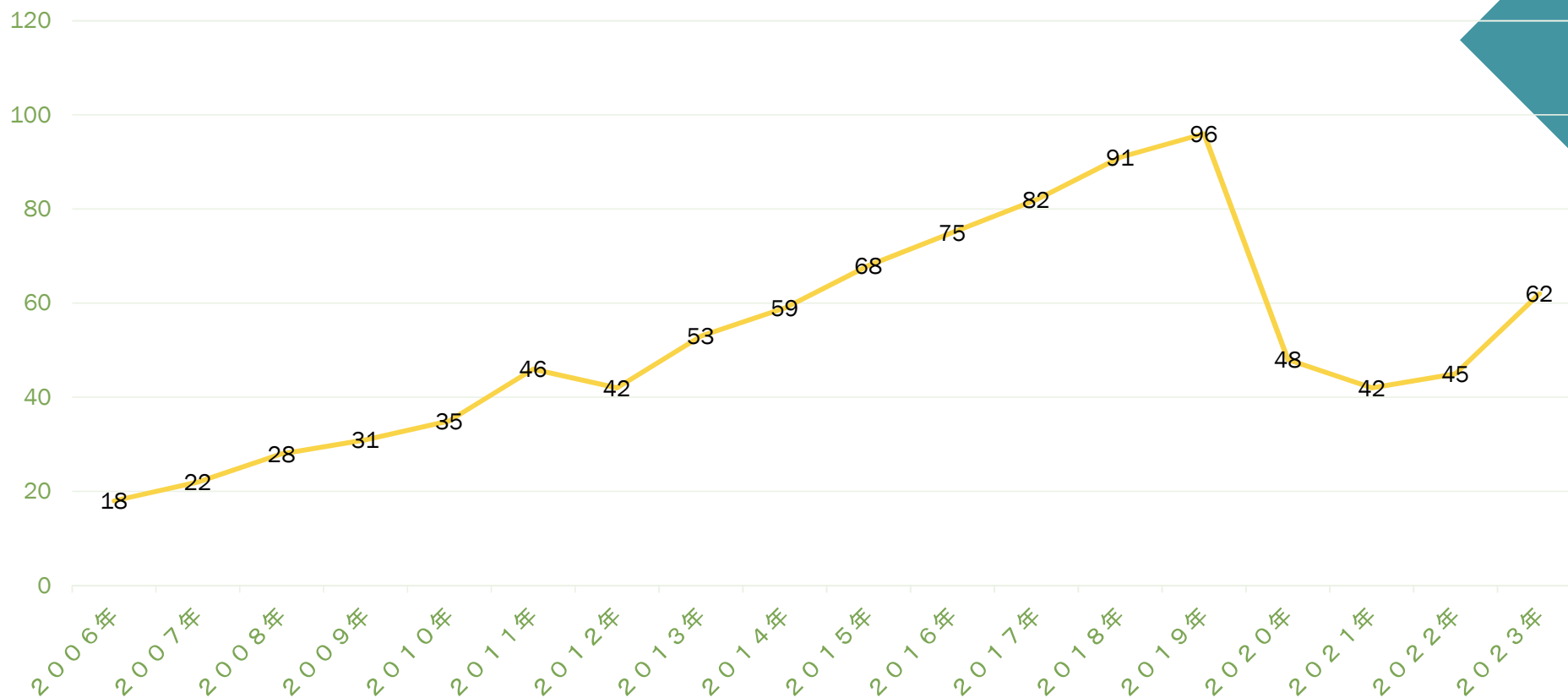
## ・その他活動

動作介助班、褥瘡班、栄養班

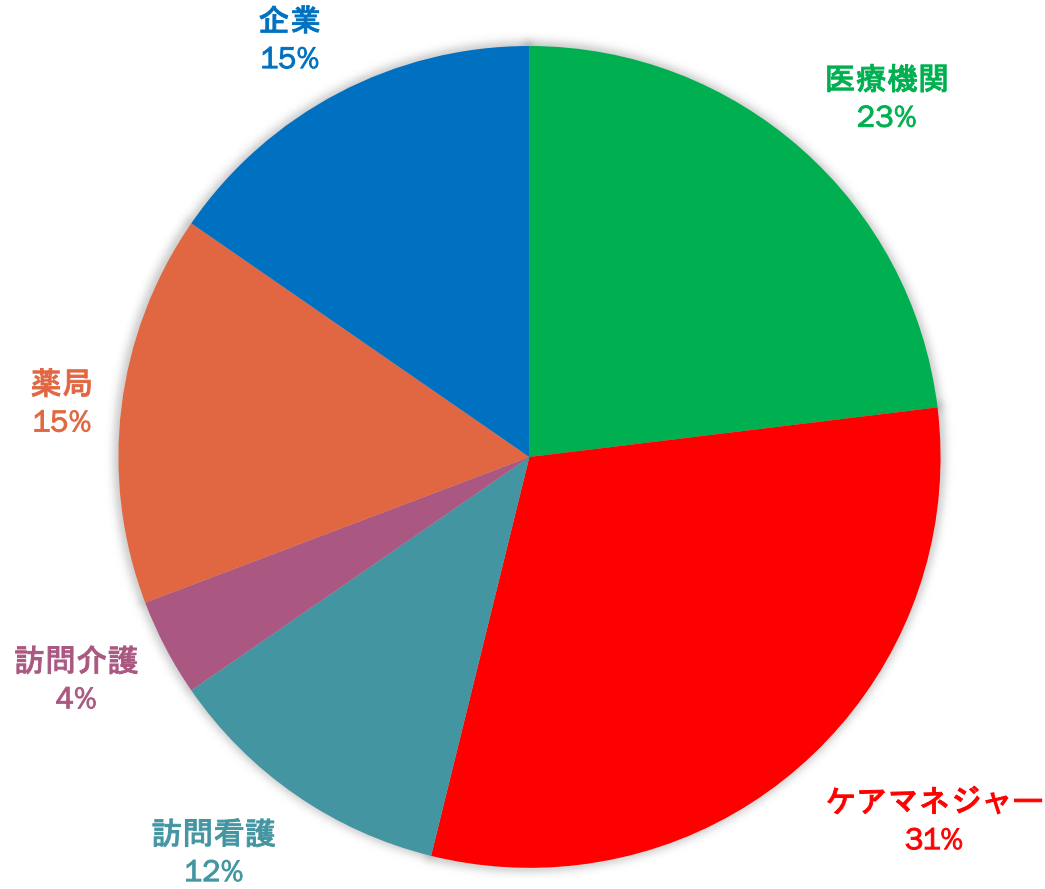


# 会員動向

会員数



# 会員種別



# COVID-19禍における成長

## ・オンラインの導入

2020年11月よりZOOMを使用したオンライン研修会を開催

2023年3月

ハイブリット開催（集合型+オンライン）

2023年4月

COVID-19発生後初めての集合型研修の再開

## ・オンライン参加者の声

- ・時間の制約がある中での参加なので、オンラインで気軽に参加できるのはありがたい。
- ・顔の見える関係構築の為には、集合型研修の開催が望ましい  
早く多職種で集まれるようになってほしい
- ・オンラインでのグループワークの開催を検討してほしい



# 最後に・・・

- ・ 今後の目標

学会発表の再開

各種作業班の活動再開

会員数・参加者数の増加

地域包括ケアシステムを支えるため、顔の見える関係を強化

今後もひまわりネットワークの連携団体としてお互いに高め合いながら船橋市民の生活を支えます。







**ご清聴ありがとうございました**

